

第18回川づくりフォーラム

【里中河川と赤野井湾】

日時：2021年2月7日(日) 13:30～16:30

場所：市立守山図書館多目的室

内容：基調講演 原田禎夫氏

参加費：無料 募集人数：40名

「NPO法人プロジェクト保津川」代表
大阪商業大学公共学部公共学科 准教授

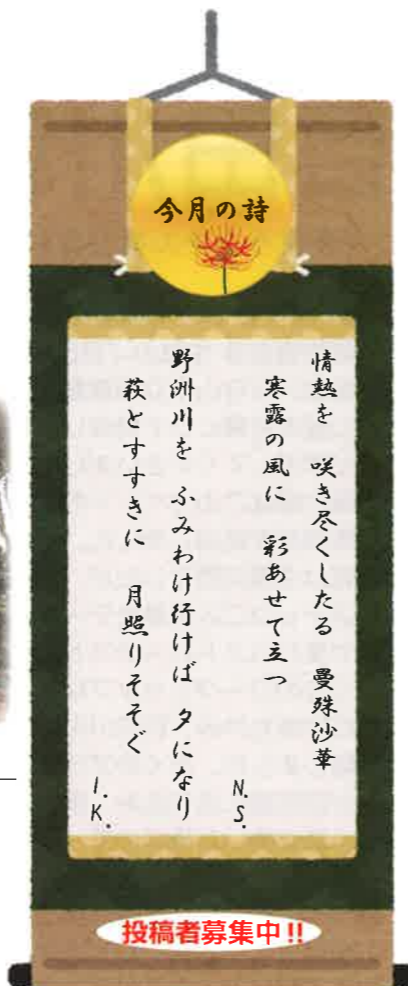
サンタクロースからのプレゼント

12月7日(月)、毎月第1、第3水曜日に市民運動公園でノルディックウォーキングをされているクラブサンタクロースさんから、守山市ほたるの森資料館設立30周年のお祝いにと寄付を頂きました。いただいたご寄付で資料館デッキにベンチを購入予定です。



私たちの目田川活動報告 — 市内各地でパネル展示 —

コロナウイルス感染予防のため中止になった学区民のついでに行う啓発活動の代わりとして、目田川やこの河川で行う環境学習の様子を知ってもらい、市民のみなさんに目田川に興味を持ち足を運んでもらおうと、夏休み生きもの観察教室の様子や、調査結果をパネルにして市内各地で展示しました。学習会で子どもたちがスケッチした昆虫や魚のほか、当日の写真なども展示しました。



投稿者募集中!!

皆様のご参加
お待ちしております

目田川でホタル自生を目指して! — 小さな自然再生 —



2018年度川づくりフォーラムの基調講演で「小さな自然再生」を知り、この手法で目田川をホタルが住みやすい河川にしようと、2020年度から親子中心の川づくりを始めました。きんき労金 NPO アワードの助成を受けて、碧いびわ湖との協働で7月から月1回作業を続けています。最初はホタルの

好きな礫が集まり易いように、川底の大きな石を護岸に移動して並べ、11月にはその石に産卵用のコケを目田川の上流で見つけ移植しました。この活動が実を結んでたくさんのホタルが目田川に住んでくれると良いですね。やっているうちに大人まで楽しくなります。

これからの活動予定

- ◎ 事務所休業 休 2020年12月26日(土)～2021年1月6日(水)
- ◎ 第3回ホタル学習会 開 2021年1月24日(日) 14:00～ 場 守山市民ホール学習室
- ◎ 川づくりフォーラム 開 2021年2月7日(日) 13:30～ 場 守山市立図書館
- ◎ 赤野井湾・小津袋クリーン大作戦 開 2021年3月7日(日) 9:00～ 場 赤野井漁港

開 開催日時 開 開催場所 開 活動場所

イベント・ボランティアの参加希望は豊穣の郷事務所にお電話ください。お申込みお待ちしております!

びわこ豊穣の郷事務所
077-583-8686



しじみのひとりごと

1月に国内へやって来た新型コロナ禍も、第3波が訪れながらもこの地域では各種社会活動も少しずつ開催されています。マスクに手洗い、三密回避など、新しい生活様式に早く慣れて、様々なイベントを規模は半減ながら再開したいものである。イベントでコロナクラスターが生じないように、レイアウト、消毒のポイント、開閉会時の人の流れの制御などを専門的に指導できるような役割を担うイベントコーディネーターが必要なのではないか。

K.A.

豊穣の郷 だより

2020年12月15日発行 発行部数 1,800部

Vol.91

人と環境のネットワーク

発行 認定NPO法人びわこ豊穣の郷 E-mail houjiyounosato@lake-biwa.net
理事長 金崎いよ子 URL http://www.lake-biwa.net/akanoi/
住所 守山市勝部五丁目10-25
TEL 077-583-8686 (有線 583-8686)
FAX 077-558-5007

- 1面 内湖の自然探検会、プロ・ナトゥーラ・ファンダ探検
- 2面 みんなのクリーン作戦、ホタル学習会、もびか通信
- 3面 目田川の環境学習会、水辺の探検会
- 4面 これからの行事予定、今月の詩、しじみのひとりごと

内湖の自然探検会

～小舟に乗って体験しよう!～

11月14日(土) 守山市芦刈園内の内湖で『内湖の自然探検会』を行いました。お天気も良く、水面に映り込んだ紅葉がとても美しく「こんなきれいな場所で活動できるなんて!」とワクワクしました。リーダーの河野さんの説明を聞いた後、早速ライフジャケットを着着!そしてその雄姿をドローンで撮影しました。その後船からの調査班と陸からの調査班に分かれ、いよいよ活動開始!船班はスタッフに教わりながら竿を操って船漕ぎ体験や、魚や水生昆虫などを採集しました。他にも内湖に設置している実験装置で飼育して



いるタデボシガイの様子を観察するなど、それまで静かだった芦刈園は元気な子どもたちの歓声が響き渡りました。それを見ながら、龍谷大学の西先生に湖底のドコの採取や岸辺の生きもの採集を行う陸班は船班が気になって仕方がない様子でした。しかしザリガニが潜っている穴を見つけ、先生が持って来てくださった水中カメラを差し込み中の様子を調べる活動は、船班の事を忘れるほど熱心にモニターに見入っていました。その後船班と陸班は交代しそれぞれの活動を行い、興奮冷めやらぬまま、ほたるの森資料館へ移動し、自分たちが採集した生物を発表しました。中でも湖底から採取した泥や藻から見つかった微生物を顕微鏡からテレビモニターに映し出すと、その不思議な様子を興味津々で観察していました。初めて参加した男の子から「こんな楽しいこといつもやっているの?もっともっと色んなのに来たい!」と嬉しい言葉をいただきました。

祝 『豊かな生態系を持つ小規模エコトーンを作る技術の実用化』 2020年度 第31回プロ・ナトゥーラ・ファンダ助成採択されました

水位変動が大きい琵琶湖小内湖に対応できる技術を進化させ内湖湖底の堆積土壌活用と人工浅瀬形成を目指します。その手段は「筏を活用した水位の異なる人工湿地とそれをつなぐ構造の改善」および「湖底土壌の再配置」です。この活動により、内湖で生産された有機物の系外持ち出しや湿地生態系の多様化が、学生・市民に実感できる

状態を目標とします。重機を用いない本技術の実用性が認知されるという将来ビジョンを持っています。

芦刈園の小内湖で活動をしています。環境が改善されるのか、今後にご注目ください。



みんなのクリーン作戦

～立入自治会館付近 吉身川～

3年前から会員対象に地域の河川に出向いて清掃活動を行っています。3年前から行われている赤野井湾の湖底ごみ除去活動の際、ごみの多さに驚き、赤野井湾に流入するごみを少しでも上流で食い止めようと始めました。また日ごろ活動が遠のいている会員様も気軽に参加していただけたと思います。1年目は本町町内を流れる金森川、陶器のかけらが多くありました。2年目は法竜川（洲本町）では農業系の肥袋やシート等があり、今年の立入町内の吉川川では生活ごみが多くカーテンやジュウタンまで揚げました。



第1回 ホタル学習会

11月27日（金）守山市民ホールでほたるの森資料館が幼虫を提供している二町自治会、矢島自治会、川中自治会、守山幼稚園の代表者が活動報告をしました。それぞれ地域や幼稚園で飛翔が確認できるよう、子供会などと連携して熱心に活動されている様子をお話くださいました。1月のホタル学習会では、米原の天野川で活動されている、鴨と蛸の里づくりグループ代表の鹿取和幸先生が講演をされます。こちらもお皆さんご参加ください。



お申込みは守山市民立ほたるの森資料館にお電話ください。

第3回 ホタル学習会

2021年1月24日（日）
14:00～16:00
守山市民ホール学習室

講師：鹿取和幸先生

在任中、守山市民立守山中学校の数学科教諭として4年間勤務。県内中学校長退任後、地域の活動に奔走。米原市議員としてもご活躍中。

もぴか通信



守山市民立ほたるの森資料館の仕事といえばゲンジボタルの観察や増殖と思われるかもしれませんが、市民運動公園内のほたるの森河川周辺の掃除を主とした維持管理も大切な業務です。先日、掃除でたまったごみを環境センターに搬出した際に、写真の碑を見つけました。場所は環境センターのすぐ近くです。繁昌池跡とあり、碑の背面には2000年に

建立されたことが記されています。碑の左側にみえる鉄のフタをとってみると土管の中に水面がみえました。ここから南すぐ近くにはかつて高い堤防を誇った旧野洲川南流がありますから、おそらく湧水池だったのでしょう。このようにかつての水理条件を調べることは、昔の守山のホタルの生息環境の研究にとっても大切ですが、それはまだ始まったばかりと言ってよいでしょう。



目田川秋の環境学習会

～近畿ろうきん社会貢献プロジェクト 笑顔プラス～

11月7日（土）国際湖沼環境委員会、近畿労働金庫 主催の『目田川秋の環境学習会』を守山市民立図書館と目田川河川公園を会場にして開催し、28名の親子が参加してくださいました。びわこ豊稷の郷はこのイベントの共催として企画運営を担当しました。当日の天気予報は生憎の雨でしたが、図書館のプラスチックごみ減量をテーマにしたお話や麦わらストローやストローケース、づくりのワークショップなどが終わる頃には雨もやみ、目田川のごみ拾いを体験しました。多くのプラスチックごみが琵琶湖に流れ込み、湖底を覆っている話を聞いた後なので、参加の皆さんは小さな欠片まで熱心に一つ一つ拾っていました。最後に当法人が地元の方の会員さんをお願いして用意した掘りたてのサツマイモを炭火で焼いた焼き芋や茹で落花生に舌鼓を打ちました。



水辺の探検会

～水生生物調査～

11月8日（日）水辺の探検会を行いました。市内河川4ヶ所、目田川、吉川川、守山川、江西川の透視度やCODなどの水質を調べ、そこに棲む生き物の調査をしました。4班に分かれて、1班1河川に向いました。目田川では、初めて参加者が調査の仕方の説明を聞き興味深々、真剣な眼差しで測定をしていました。子ども達は生き物を獲るのは大好き！他の河川でも、人形トビケラがいた！大きなヤゴがいたよ！など、生き生きと活動している姿が見れて大人も元気をもらいました。そしてほたるの森資料館に戻り、それぞれの班ごとに採集した生き物を水生昆虫、魚、貝類、水草類など分類分けです。普段はあまり意識をしていなかった小さな生き物まで、顕微鏡を見なが

ら龍谷大学の西先生に解説をしてもらいました。じっくり観察すると色々な生き物がいるのだと本当に感心しました。こういう地道な活動を続けることで、河川の変化を見守りたいと思います。

